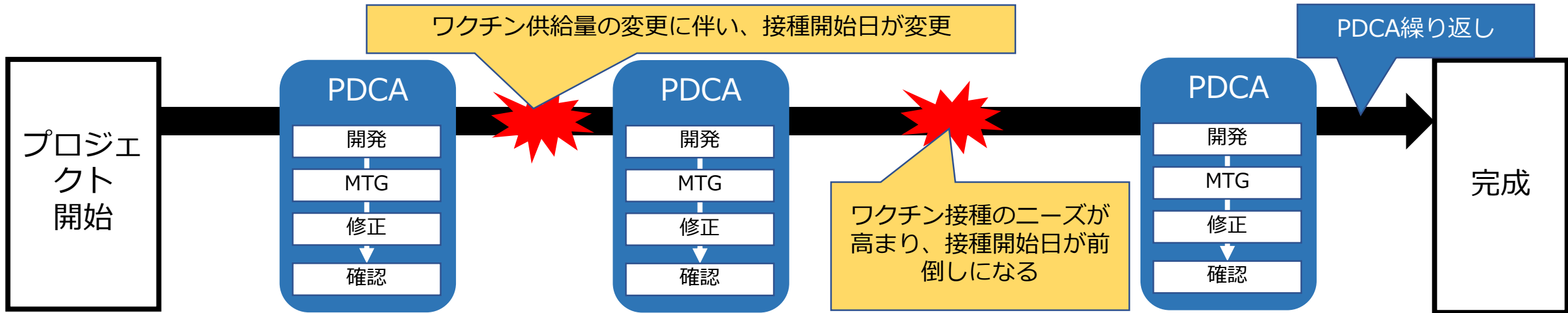


取組の概要（アジャイル開発）



- プロジェクト開始時点で、理想とする予約システムのおおまかな「理想像」を共有
- 開発→MTG→修正→確認（修正内容）のPDCAを1週間単位で回し、システムを開発。
- 定例MTGでは、日野町と協力企業の合同で開催。住民の声を日野町が、協力企業へ伝え、開発することにより、エビデンスに基づいた、住民に寄り添ったシステムを完成させることができた。
- プロジェクトを進める中、緊急の課題が生じることもあったが、短い期間でPDCAを回したアジャイル開発を進めたことで、柔軟かつ、迅速に解決することができた。
- 役割と流れ（①→③を繰り返す）
 - ①日々、刻々と変化するワクチン接種を取り巻く状況（接種現場・予約受付の状況、国等の動向など）を協力会社に伝える（町職員）
 - ②定例ミーティングで把握した情報をもとに、システムを次回ミーティングまでに開発（協力企業）
 - ③いったん開発された内容について、**ユーザー目線で確認し、町民、町職員にとって使いやすいかどうかという視点で確認し、修正するべき点を協力会社に伝える（町職員）**
- MTGには、以下の参加者で実施し、プロジェクトが迅速に進む様、実施。
日野町：町長、副町長、総務政策主監、厚生主監、保健センター所長、ワクチン接種担当者、システム担当者
協力企業：（株式会社ソーシャル・エックス）：代表取締役、開発部長、担当部長、担当PM、開発担当者

完成したシステムの特徴

日野町が実施していた高齢者向け電話予約をモデルに設計
E B P Mプロセスによる「アジャイル開発」により、「本当に使いやすいシステム」を実現

●ワクチン接種予約システムにおける工夫したポイント

- ・協力企業によるコールセンターの視察を実施。町で実施していた電話予約（職員O Bが対応）の状況をふまえて設計。
- ・1回目の予約と2回目の予約を必ずセットで予約することで効率化をはかるシステムを構築。
（他事例では1回目の予約はとれたが、2回目は取れないといったことが発生していたことを受け）
- ・WEB予約ができない方向けに、電話で簡単に予約できる仕組みを構築。IVR上でのプッシュボタンでの操作による接種券番号、生年月日の入力のみで個人認証できることを可能にした。
- ・代理予約、家族単位など複数人の予約などが多かったことに鑑み、システム上で可能な形を実現。
- ・「とにかく早く予約したい」という例が多かったことから、直近予約をレコメンドする形にした。
- ・入力項目を出来るだけ減らして、システムでの滞在時間を短くし、システムがパンクしないようにした。
- ・ワクチンメーターによる情報発信と連動。ワクチン供給量や接種状況をみながら、予約コントロールが出来る仕組みを構築。
- ・電話・WEBの相互利用できる様、WEBシステムと連携。WEB/IVRにて同時予約した場合、同じ枠を取り合わないよう、WEB/IVRのどちらでも、確認・キャンセルが可能なシステムを構築。

●税務相談システムのポイント

ワクチン接種予約システムの特徴を活かし、用途を変えて二次利用で実現。
朝から順番待ちの列が続いていたことを解消するため、システムでの予約を可能。町職員の提案と協力企業の協力により、システムを開発。順番待ちの列の解消、住民へのスムーズな案内が実現できた。

ワクチンメーター

The screenshot shows the Hino Town website with a navigation menu and a central dashboard for COVID-19 vaccine status. The dashboard includes a search bar, a 'Vaccine Information' link, and a 'Vaccine Information' link. A red box highlights the '新型コロナウイルス感染症 ワクチン集団接種予約情報' (COVID-19 Vaccine Group Vaccination Reservation Information) and the '日野町ワクチンメーター (ワクチン接種状況)' (Hino Town Vaccine Meter (Vaccine Status)) sections. A red arrow points from the dashboard to the detailed data on the right.

予約動向のリアルタイムなデータの確認が可能になった。

新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種状況について (日野町ワクチンメーター)

[2022年6月16日]

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [シェア](#) [ツイート](#)

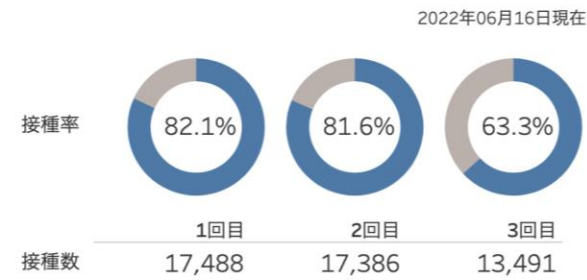
日野町ワクチンメーター

滋賀県・全国の接種状況はデジタル庁のオープンデータを用いているため、更新タイミングは同時ではありません。
【接種数】ワクチン接種記録システム (VRS) に記録、集計されたデータ。VRSのデータは過去の接種日の件数が遅れて増加することがあります。
【接種率】2021年1月1日現在の人口を用いています。年代別では、年齢が不明なものは計上していません。

接種実施状況の概要

日野町の接種状況 (全体)

(参考) 滋賀県・全国の状況



2022年06月15日時点

	1回目	2回目	3回目
滋賀県	77.1%	76.6%	59.3%
全国	76.7%	76.1%	60.4%

集団接種会場での接種状況

集団接種会場における3回目 (追加) 接種は、2022年5月22日 (日) をもって終了いたしました。



日次



今後の展望（日野町の地域公共交通活性化にむけて）

○公共交通活性化の必要性○

- ・ 利用者の減少とともに便数の削減 → 本数が少ないから利用しない（できない）という悪循環
- ・ 一方で交通をめぐる課題は山積
通勤マイカーによる交通渋滞、危険な通勤自転車の国道走行、2キロ以上の徒歩通学、
小学校1年生からの自転車通学、「家族タクシー」（家族による送迎）の負担
- ・ 日野町が「住んでみたい、住み続けたいまち」となるために・・・
「忘れられていた」公共交通を再び活性化させることが必要

潜在的な公共交通への需要を掘り起こし、それを満たす交通体系へ・・・エビデンスに基づく構築

「わたむき自動車」プロジェクト

人口流動等実態調査の実施→潜在ニーズの把握と実証実験の実施→持続可能な公共交通へエビデンスに基づく再編

実証実験

工業団地への通勤バス運行、まちなかバスの小型化・本数倍増（運転手養成のしくみ構築）、小学校スクールバス充実、オンデマンド交通の導入（高齢者等の移動手段確保だけでなく、日野駅や公民館事業への送迎、保育所送迎、飲食店送迎も）

目指す姿

若い人も高齢者も親子連れも来訪者も・・・
だれもが利用しやすい公共交通を、みんなが利用しているまち、日野町

公共交通で安全に通勤・通学できるまち、公共交通でどこへも気軽に出かけられるまち、公共交通で来訪・観光できるまち、いつでも公共交通で安心して帰宅できるまち、交通ターミナルの日野駅を交流・にぎわい拠点とするまち